



2026年3月13日

各 位

会社名 株式会社オハラ  
代表者名 代表取締役社長執行役員 齋藤 弘和  
(コード番号 5218 スタンダード市場)  
問合せ先 取締役専務執行役員 中島 隆  
(TEL 042 (772) 2101 (代表))

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2025年12月11日に公表いたしました連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 連結業績予想の修正

##### (1) 2026年10月期第2四半期(中間期)連結業績予想の修正

(2025年11月1日～2026年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間 純利益
前回発表予想 (A)	百万円 14,100	百万円 300	百万円 500	百万円 100	円銭 4.10
今回修正予想 (B)	14,400	600	800	500	20.79
増減 (B - A)	300	300	300	400	—
増減率 (%)	2.1	100.0	60.0	400.0	—
(ご参考) 前期実績 (2025年10月期第2四半期(中間期))	13,801	1,051	1,291	756	31.04

##### (2) 2026年10月期通期連結業績予想の修正

(2025年11月1日～2026年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期 純利益
前回発表予想 (A)	百万円 28,900	百万円 1,100	百万円 1,600	百万円 900	円銭 36.94
今回修正予想 (B)	29,900	1,600	2,000	1,200	49.90
増減 (B - A)	1,000	500	400	300	—
増減率 (%)	3.5	45.5	25.0	33.3	—
(ご参考) 前期実績 (2025年10月期通期)	28,895	1,794	2,289	1,730	71.04

## 2. 業績予想の修正理由

2026年10月期第2四半期（中間期）連結業績予想につきましては、光事業におけるデジタルカメラ向け製品、とりわけ高単価な川下製品の需要が堅調に推移していることに加え、2026年10月期第1四半期において特別利益として固定資産売却益97百万円を計上したことから、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主帰属する四半期純利益は当初予想を上回る見込みとなりました。また、2026年10月期通期連結業績予想につきましても、第2四半期（中間期）連結業績予想の修正及び足元の事業環境を踏まえ、上記の通り修正いたしました。

（ご参考）2026年10月期セグメント別業績予想数値

2026年10月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値（2025年11月1日～2026年4月30日）

	光事業		エレクトロニクス事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
前回発表予想（A）	百万円 7,600	百万円 △400	百万円 6,500	百万円 700
今回修正予想（B）	8,200	0	6,200	600
増減（B－A）	600	400	△300	△100
増減率（％）	7.9	－	△4.6	△14.3
（ご参考）前期実績 （2025年10月期第2四半期（中間期））	7,148	△387	6,653	1,439

2026年10月期通期連結業績予想数値（2025年11月1日～2026年10月31日）

	光事業		エレクトロニクス事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
前回発表予想（A）	百万円 15,300	百万円 △700	百万円 13,600	百万円 1,800
今回修正予想（B）	16,300	△300	13,600	1,900
増減（B－A）	1,000	400	0	100
増減率（％）	6.5	－	－	5.6
（ご参考）前期実績 （2025年10月期通期）	15,310	△799	13,585	2,593

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上